

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●福永祐一騎手がJRA通算2400勝達成

1月10日(日)の1回中京3日・第11レースとして行われたシンザン記念ではビクシーナイトが1着となり、同馬に騎乗した福永祐一騎手(栗東・フリー)は、史上5人目、現役では4人目となるJRA通算2400勝(1万8117戦目)を達成しました。

●木原一良調教師がJRA通算300勝を達成

1月9日(土)の1回中京2日・第10レースとして行われた濃尾特別ではソルトイブキが1着となり、同馬を管理する木原一良調教師(栗東)は、現役66人目となるJRA通算300勝(延べ4696頭目)を達成しました。

●WIN5の史上最高払戻金更新

1月11日(祝・月)のWIN5の払戻金は4億8178万3190円(的中1票)でした。これは2019年2月24日(日)の4億7180万9030円(的中1票)を更新するWIN5史上最高払戻金となります。

●アドマイヤマーズ、ウインブライトらの競走馬登録抹消

2019年NHKマイルC(GI)などの勝ち馬アドマイヤマーズ(牡4歳/栗東・友道康夫厩舎/JRA通算11戦5勝・海外2戦1勝)、2019年スプリンターズS(GI)などの勝ち馬タワーオブロンドン(牡5歳/美浦・藤沢和雄厩舎/JRA通算17戦7勝・海外1戦0勝)、2019年香港C(香港・G1)などの勝ち馬ウインブライト(牡6歳/美浦・畠山吉宏厩舎/JRA通算21戦7勝・海外3戦2勝)、2016年読売マイラーズC(GII)などの勝ち馬クルーガー(牡8歳/栗東・高野友和厩舎/JRA通算23戦6勝・海外4戦0勝)、2020年CBC賞(GIII)の勝ち馬ラブカンパー(牝5歳/栗東・森田直行厩舎/JRA通算34戦3勝・地方1戦0勝)は、2020年12月24日(木)までに競走馬登録を抹消されました。アドマイヤマーズは北海道安平町の社台スタリオンステーション、タワーオブロンドンは北海道日高町のダーレー・ジャパンスタリオンコンプレックス、ウインブライトは北海道新冠町のビッグレッドファーム明和、クルーガーはトルコでそれぞれ種牡馬となり、ラブカンパーは北海道日高町の奥山牧場で繁殖馬となる予定です(年齢はいずれも抹消時)。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●年度代表馬はサブノジュニア(大井)、NARグランプリ2020

NARグランプリ2020の年度代表馬は、4歳以上最優秀牡馬と最優秀短距離馬も受賞のサブノジュニア(大井)、2歳最優秀牡馬はアランパローズ(船橋)、4歳以上最優秀牝馬はサルサディオネ(大井)、ダートグレード競走特別賞馬はクリソベリル(JRA)が選出されました。また、最優秀勝利回数調教師賞は角田輝也調教師(愛知)、最優秀賞金取得調教師賞は小久保智調教師(浦和)、最優秀勝利回数騎手賞と最優秀賞金取得騎手賞は森泰斗騎手(船橋)が受賞しています。

●全日本新人王争覇戦(高知)が延期に

1月19日に高知で実施予定だった全日本新人王争覇戦は、新型コロナウイルス感染状況等を鑑み、3月下旬に延期されることになりましたが、状況次第で再延期や中止の可能性もあります。

●新春ベガサスC(名古屋)はブンブンマル【各地の主要3歳重賞】

新春ベガサスC(1月1日、名古屋、1600m)は、2番手から3、4コーナー中間で先頭に立ったブンブンマル(牡、父ナムラタイタン)が4馬身差で圧勝、単勝1.9倍の支持に応じて初の重賞制覇を果たしました。

●1月20日のTCK女王盃(大井)で連覇を狙うマドラスチェック

TCK女王盃(JpnIII、1月20日、大井、1800m)は、昨年の覇者マドラスチェックが最有力、以下マルシュロレース、レースブランシュ、プリンシアコメータ、マルカンセンサー(大井)、ローザノワールまでが争覇圏内と考えられます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●2020年の英仏競馬統計～ガリレオが12度目の英愛首位種牡馬

2020年の英愛チャンピオンサイヤーの座に就いたのはガリレオ(1998年生まれ、父サドラズウェルズ)でした。G1英1000ギニーやG1英オークスに優勝したラブなどが活躍し、11年連続12度目の首位となりました。取得賞金は527万4968ポンド(約7億4377万円/1ポンド141円で換算)。6月1日～11月7日の期間で争われたイギリスの騎手は、O.マーフィー騎手(25歳)が142勝で2年連続2度目のチャンピオン。イギリスではカメコで勝ったG1英2000ギニーを含む3つのG1を制しました。1月1日～12月31日を集計期間とする同調教師は、J.ゴスデン調教師(69歳)が取得賞金313万298ポンド(約4億4137万円/1ポンド141円で換算)で3年連続5度目の戴冠。イギリスではエネイブルで勝ったG1キングジョージVI世&クイーンエリザベスSを含むG1・7勝をあげました。フランスはシューニ(2007年生まれ、父ビヴォタル)が取得賞金406万950ポンド(約5億1167万円/1ポンド126円で換算)で初の首位種牡馬。G1凱旋門賞とG1ガネー賞を制したソットサスなどが活躍しました。騎手は、P.ブドー騎手(28歳)が220勝で4年ぶり3度目のトップ。調教師は、ソットサスを手がけたJ.C.ルジェ調教師(67歳)が取得賞金454万2332ポンド(約5億7233万円/1ポンド126円で換算)で4年ぶり3度目のチャンピオンに輝きました。